

令和5年度 JGAP認証公開審査会



12月11日(月)に農場にて、JGAP認証公開審査が行われました。本校では、令和元年度よりJGAP認証についての取り組みを開始しました。今回は5回目の審査となり、準備を進めてきました。この日は、外部から4名と3S鶴戸くん、橋井さん、藤原くんが参加し更新審査会が行われました。JGAPの管理点・適応基準をもとに、審査が進められ、無事に審査が終了し、継続認証を受けました。参加した4名の生徒は、審査員の質問に対して、的確に回答していました。

GAPとは

Good Agricultural Practiceのことで日本語に直訳すると「良い農業のやり方」、農水省の訳では「農業生産工程管理」のことです。農業において、「食品安全」「環境保全」「労働安全」等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みです。現在、佐伯豊南高校のキャベツ・ハクサイはJGAP認証をされています。

第7回 令和5年度農業高校生収穫感謝祭



12月2日(土)第7回農業高校生収穫感謝祭がガレリア竹町ドーム広場で開催されました。この感謝祭は大分県の農業高校をPRするため大分県農業部会が主催し、県下9校の農業高校が参加しました。本校から3S安部さん、戸坂さん、留野さん、廣瀬さん、吉藤さん、岡本くん、2S青山さん、榎並さん、河合さんが参加し、販売や体験コーナーなどを中心に活動しました。寒さが厳しい中での開催でしたが、大勢のお客さんでにぎわっていました。開会式では、農業クラブ県連事務局の代表、岡本くんが挨拶をしました。本校は、ジャム類やパウンドケーキなどの加工品を販売しました。売れ行きが良く、担当した生徒の皆さんが笑顔でお客様に対応する姿を見ることができました。体験コーナーでは、「ミニしめ縄作り」を実施し、多くの来場者が参加してくれました。指導を行った生徒の皆さんは、丁寧にしめ縄作りを教えていました。次年度も開催する予定ですので多くの生徒の皆さんに参加してもらいたいです。そして、多くの方々に佐伯豊南高校をアピールしてもらいたいです。

令和5年度 日本農業技術検定

12月9日(土)令和5年度第2回日本農業技術検定が行われました。食農ビジネス科2年生が3級に挑戦しました。農業技術検定は、就農や農業系大学を目指す学生や社会人などを対象にしています。農業知識や技術の取得水準を客観的に把握し教育研修の効果を高めることを目的として、平成19年度から実施している全国統一の資格です。この資格の上位級を取得すると、一部大学で授業料減免等の優遇措置を受けることができます。結果は、来年1月に発表されます。今回の結果をふまえ、来年度上位級取得できるよう学習に取り組みしましょう。今回、日本農業技術検定で出題された問題を一部紹介します。

【問題】光合成を行うために必要な要素として、最も適切なものを選びなさい。

- ①水、酸素、光
- ②水、水素、光
- ③水、窒素、光
- ④水、二酸化炭素、光

【解答】④

【問題】単為結果性が高い作物として、最も適切なものを選びなさい。

- ①ウンシュウミカン
- ②キウイフルーツ
- ③スイカ
- ④ブルーベリー

【解答】①

【問題】写真の雑草の名称として、正しいものを選びなさい。

- ①エノコログサ
- ②メヒシバ
- ③オヒシバ
- ④カヤツリグサ



【解答】①

【問題】マルチング資材のうち、地温上昇効果が最も高いものはどれか。

- ①麦わら
- ②透明フィルム
- ③黒色フィルム
- ④シルバーフィルム

【解答】②